

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	山形県立こども医療療育センター 児童発達支援センター からふる通園		公表日		R8年 2月 12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・お子さんが保育室の場所を理解しやすいよう、動物や果物の名前とイラストで示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・保育の前後に日々の清掃や環境整備を行っている他、定期的に役割を決めて細部の清掃や点検を行っております。	・南デイルームの床が硬いため、改善に向け予算要求を行っております。現在は活動に合わせて、マットを活用し対応しております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・お子さんや保護者と相談し、お子さんが気持ちを落ち着けたい時に1対1での関わりや、好きな遊びをして過ごせる場所の提供をしています。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・全体のミーティングやグループの打ち合わせで振り返りを行う他、日々気づいた時点で情報を共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・毎年アンケートを実施し、頂いた意見を元に職員間で意見を出し合い改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・全体ミーティング、グループでの話し合いを毎日実施しています。 ・行事後に良かった点や改善点などの意見を出し合い、共有し、次年度の実施時に参考としています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	・第三者による外部評価は行っておりませんが、虐待防止委員会の外部委員よりセンター全体への指導や助言をいただいています。また、関係機関の見学受け入れを随時行っており、開かれた業務を心掛けています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・各種研修受講(ポーター早期教育プログラムや意思決定支援についてなど)やセンター内の研修研究発表会、通園内の毎月の勉強会等を実施しています。	
適切 な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・利用開始時、お子さんを観察し見えてきた課題や保護者より伺ったニーズ、ご家庭での様子等を職員間で共有し、支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・お子さんの発達面だけでなく、お子さん自身がどう感じているかという点にも着目し検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・保育の打ち合わせの際、各お子さんの目標を確認し、保育の内容に反映するよう話し合っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・遠城寺式発達検査表やポーター早期教育プログラムのチェックリストを参考ツールとしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・保育計画作成時や翌週の保育打ち合わせにおいて、活動プログラムが固定化しないように話し合っています。お子さんによっては取って同じ遊びを繰り返すことで学習効果が高まることや安心して活動に参加出来るようになることがあるため、同じ活動に取り組む際には目的やねらいについて丁寧に説明を行ってまいります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・保護者の承諾を得たうえで関係機関と情報共有し、地域での生活がより安心したものとなるよう並行利用先の訪問を行っています。また、お子さんと保護者ニーズを考慮しながら、移行等の提案をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・見学や訪問での連携、情報提供書の作成を行っています。 ・お子さんも保護者も安心して、就学に向かえるよう情報の共有を丁寧にしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	8	0	・上山市、山形市の自立支援協議会に参加しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	・今年度より、上山市内の保育園との交流を実施しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・年に2回保護者研修会を開催しています。 ・R7年度は子育てについての研修会を開催しておりませんが、ペアレント・トレーニングやポーター早期教育プログラムについて情報提供を行いました。また、必要に応じ、プリントの配布や、本の紹介を行いました。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		・利用開始時のみでなく、今後は毎年年度始めのオリエンテーションにおいても説明していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		・モニタリング面談時及び必要に応じて行い、共に手立てを考えたり、職員間でアイデアを出し合い、より適切な支援ができるよう努めています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・年2回の保護者研修会や「おしゃべり会」の開催、各行事等において交流を支援していきます。	・きょうだい児の保育参加について、周知頂けるようお知らせやお誘いをしていきます。参加された際には交流の機会を設けていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		・センターのルールにのっとり、速やかに対応していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		・研修を受け、職員間での情報共有を継続していきます。今後もお子さんや保護者と相談しながら、お子さんの理解に努めてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		・感染対策の観点から行っておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		・避難訓練、消火訓練、急変時対応訓練を行っています。 ・気管切開のあるお子さんや発作・怪我など状況に状況に合わせた臨機応変な対応が出来るよう急変時対応訓練を行っています。また、各グループ毎の訓練の他、グループ合同の訓練もしています。 ・熊出没を想定した避難訓練を行いました。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		・毎月のバスハイクでは交通安全のルールについて説明を行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我につながった保育用品や玩具、危険箇所（衝立の脚、シーソーの脚）については、職員で検討、改善し、保護者にも説明しました。 ・職員によるデザート配膳忘れや服薬確認漏れ等の防止について、提供カードの作成、ごあらノートへ当日の服薬の有無について記入欄を設けるなど、職員間で検討し改善しました。 	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		